

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新座校			
○保護者評価実施期間	2025年11月7日 ～ 2025年11月22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年11月7日 ～ 2025年11月22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士が2名所属していること	専門的支援実施計画に基づいて細かく子供に支援ができている。	児童指導員の職員が保育士試験に挑戦し更なる高みを目指す
2	・職員間の連携がとれているところ	朝礼時に打合せや指導員間ミーティングで子供の情報共有を行っている。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士の職員がいない	募集をかけているが地域での採用がなかなか難しい。	近しい支援ができるような勉強を行う。
2	・職員の入職期間が短く経験値が浅い	事業所の中での研修やユニット内・ブロック内での研修機会で自己研鑽を行いより良い療育ができるような体制作りを継続していくこと。	事業所の中での研修やユニット内・ブロック内での研修機会で自己研鑽を行いより良い療育ができるような体制作りを継続していくこと。
3			

公表日

2026年2月15日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」新座校

利用児童数

22

回収数:

13

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0	運動の活動スペースと落ち着いた机上課題のスペースが分かれていて良いと思う。	ご意見ありがとうございます。支援内容によっては場所の変更もございますので協力の程宜しく願ひ致します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	0	一対一で見てくれる療育はなかなかないのできめ細やかな対応をしてくださって感謝しています。	ご意見ありがとうございます。個別支援となりますので適正な指導員数で運営しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※ 1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	0	パーテーションで区切られていたり、集中度合いによっては扉で空間を区切って落着いて活動できると思う。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0	広さも十分で良いと思います。	ありがとうございます。清潔を保てるように進めてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	0	毎回の振り返りで気になる行動などを相談できたり、必要な支援をすぐに考えて取り入れてくださるのでありがたいです。	ご意見ありがとうございます。フィードバック時にわかりやすくかつ簡潔にお伝えできるように進めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※ 2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0	放課後デイは集団が多い中、子どもサポートという面で一対一で子供と向き合ってくくださる貴重な療育先だとおもいます。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	13	0	0	0	気になる部分はすぐに相談・変更してくださいました。	ご意見ありがとうございます。ご利用開始当初は半年間かけてお子様のご様子を確認していく目標設定になっております。その後、お子様の本題を進めてまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0	細かく支援内容も個別支援計画に書いてくださっていてありがたいと思います。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0	様々なバリエーションからアプローチしてもらえて助かります。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	1	一対一だけではなくたまに同じ学年でグループ療育なども組んでくださるので良いと思います。	ありがとうございます。今後も固定化にならないように努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	3	2	地域や幼稚園とかかわりは通わせているなかではあまり感じられませんが、サポート内容的に一対一の療育なので、このままで良いのではないかと思います。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
保護者への説明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0	面談で丁寧に教えてくださいました。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0	具体例などを挙げて支援内容を説明してくださったり、相談に乗ってくださったりしました。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	0	3	3	参加はしたことはないですが、セミナーのお知らせなどが掲示してあるので機会があれば参加したいです。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0	毎回の振り返りで丁寧に教えてくださり感謝しています。	ありがとうございます。これからもよりよくコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	1	モニタリングの面談で困り事や親の不安感などを丁寧に聞いてくださり、相談に乗ってくれました。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0	先生たちはみなさん優しく話を聞いてくださるので安心できます。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	2	5	子供同士はグループ療育などの機会と一緒に活動することがありますが、親同士や兄弟関係での活動はないように思います。しかし療育も1時間という短い中なので、現状のままで良いのではないかと思います。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	1	すぐに面談の日程を組んでくださったり、先生の時間がある時は療育中の時間で子供とは別室でお話を聞いてくださることもあるのでありがたいです。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0	保護者とは落ち着いた話せる空間で振り返りして下さるので情報伝達については問題ないと思います	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	4	LINEで情報が来るのでありがたいです	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0	同じ時間の子の親とは離れて個別に振り返りしているので良いと思います	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	2	感染症マニュアルについては掲示があつてわかりやすいとおもいます	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	0	5	避難訓練などはまだ自分の子は経験してないようですが、ヘルメットが置いてある等すぐに対応できるようになっているのだと思ってます	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0	地震があつたときの避難場所など掲示してありわかりやすいと思います。	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	1	怪我等などしたことはないですが、振り返りの時間が10分ほどあるので丁寧に説明してくださると思います	今後ともより良い教室作りを行ってまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	丁寧に自分の話を聞いてもらえるのが嬉しいみたいです	ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	0	0	先生たちが優しいのでいきしぶりはありませんでした。	ありがとうございます。楽しく通い続けられるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	いつもありがとうございます。変則的な時間にも対応していただき感謝しています。これからもよろしくお願いします。	ありがとうございます。今後もご満足いただけるよう努めてまいります。

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1時間当たり最大3名の受け入れにしているので十分なスペースを確保している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別療育になるので児童1名に対して職員1名の配置を行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		教室内はフラットな場所になっているが玄関に段差があるので完全なバリアフリーにはなっていない。また場所によってはイラストを使用している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援終了後は清掃活動としてアルコール消毒を実施している。冬季などは次亜塩素酸ナトリウムを使用した消毒も実施しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動内容によって大きな部屋を使って行うことも可能。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		教室の目標設定及び振り返りについては上期・下期で確認及び毎月のタスクとして管理を行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート結果から改善内容を共有し教室全体で改善を進めております。また、フィードバックや保護者支援で伺ったニーズも採用しております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		通常の1on1と校内ミーティングから要望を抽出し優先順位高いところから着手しております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		発達支援研究所との連携により業務改善を行っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修や発達支援研究所の研修、本部主催の研修に随時参加することで自己研鑽を積んでいます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		各種支援プログラムが作成されております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントシートから情報収集と検証を行い成長度合いを確認しております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画原案の中から変更点を見出し指導員とも協議の上策定しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画原案作成の段階で指導員間で共有を行い対応できる支援内容を提供しております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のツールを用いてアセスメントを実施し直近の困り感を考慮しながら支援を行っております。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画原案作成時に5領域に照らし合わせて網羅できるように進めております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		指導員間で情報共有を毎営業日で実施し支援プログラムが成長に合わせて進んでいるか確認を行っております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		指導員間で情報共有を毎営業日で実施し支援プログラムが成長に合わせて進んでいるか確認を行っております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本は個別支援となるので個別活動の個別支援計画となります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		指導員間で情報共有を毎営業日で実施し支援プログラムが成長に合わせて進んでいるか確認を行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		社内ツールを用いて情報共有を行っております。また必要に応じて朝礼時に確認を行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後に支援記録を作成し指導員間で情報共有と記録作成漏れ等が起きないように管理を行っております。
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングを実施し保護者へのヒヤリングとニーズの確認を行い新しい個別支援計画に落とし込みをかけております。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者および児童指導員が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		市内の部会参加により連携の体制を整えております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者のニーズに合わせ園との連携を行っております。また移行に合わせて他事業所との連携も行っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学時には保護者のニーズに合わせて対応しております。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		アシタエールとの連携により取り組んでおります。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	個別支援の事業所になるので機会がありましたら検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後のフィードバック時に対応しております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所内の家族連携の際に実施しております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や書類の更新時に随時実施しております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングを実施し保護者へのヒヤリングとニーズの確認を行い新しい個別支援計画に落とし込みをかけております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画にサインを頂く際に説明を行っております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援として随時実施しております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	通常はフィードバック時に活動内容をお伝えし全体での回としては実施しておりませんが今後検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		適宜実施しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログ・Instagramにて教室の活動内容を公開しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報同意書に基づいて適切に対応しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮が必要な方に合わせた対応をしております。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個人情報にかかる部分にもなりますので行事への招待は行っておりません。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルに合わせた対応を行っております。また訓練は月に1回実施しております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害に備え必要な物品等を買揃え準備を行っております。また訓練に関しては月に1回実施しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談時にフェイスシートにご記入頂き対応しております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供はございませんが面談時に確認を行っております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		各マニュアルに合わせた対応を行っております。また訓練は月に1回実施しております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に周知をしております。また待合スペースにファイルとして公開しております。

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生した時点で作成し事業所内で共有を行っております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会からの研修に合わせて教室内での落とし込みをかけております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束委員会からの研修に合わせて教室内での落とし込みをかけております。